

(第5報) 全老健、2017年(愛媛県)

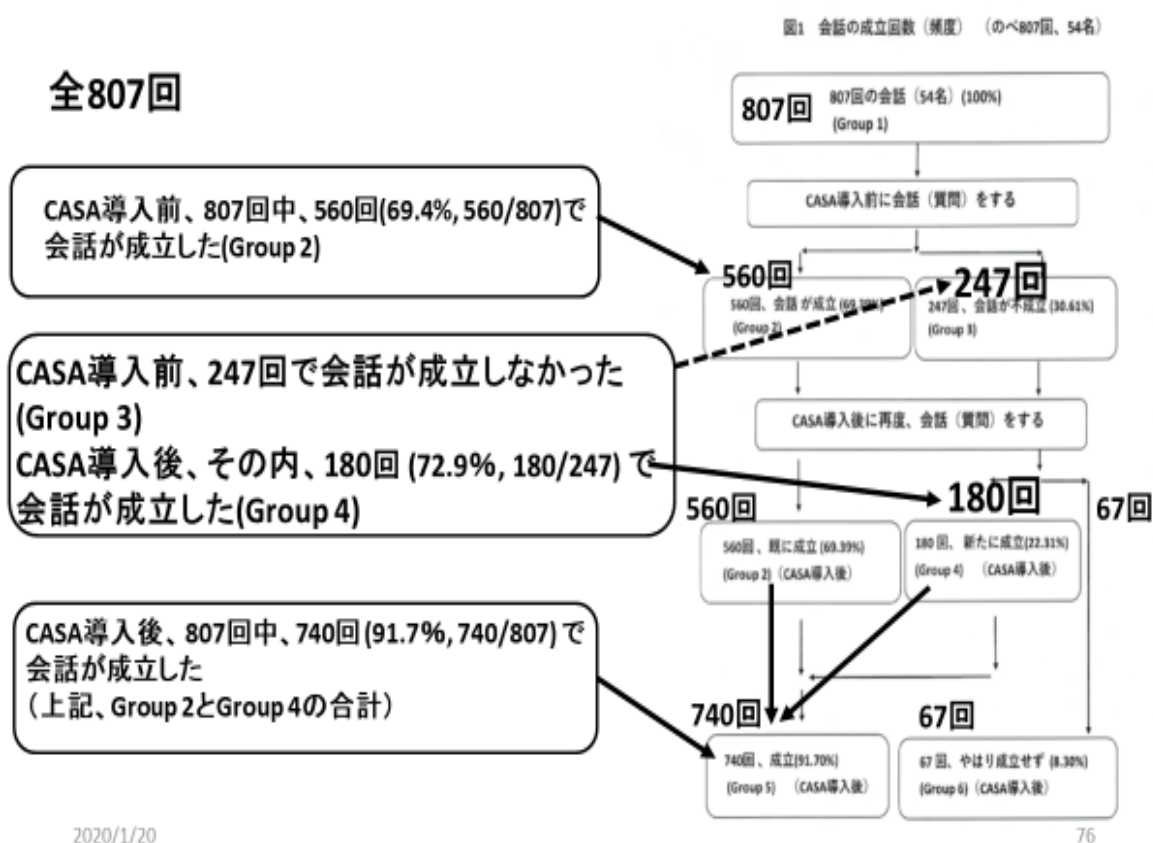
演題名: 会話力賦活システムは会話成立回数を22%、増加させた

副題: 54名(のべ807回)に装着した(第5報)

発表者: 浅田 章¹⁾、鎌田 琢磨²⁾、柴田真弓¹⁾、岡山広子¹⁾、河合昌子¹⁾、馬込真琴¹⁾、千葉喜代美¹⁾

所属: すこやか生野¹⁾、リードアライアンス²⁾

結果 会話の回数と成立頻度



概略: 54名にのべ807回、CASA導入の前後で会話(質問)を行った。CASA導入前に、560回(69.39%)、導入後に、740回(91.70%)、会話が成立した。CASA導入前に、54名の内、26名(48.15%)で、CASA導入後、42名(77.78%)で、毎回会話が成立した。